

株式会社小松製作所が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、株式会社小松製作所（以下「本法人」）が発行する第 14 回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 7 月 16 日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の発行により調達する資金は、建設機械の稼働中のCO₂排出削減に貢献するハイブリッド油圧ショベルや電動化建機などの商品、KOMTRAXなどを活用した低燃費運転を支援するサービス、ICT建機を中心としたスマートコンストラクションなどのソリューションの研究開発およびそれらの提供・普及等に活用するとともに、生産現場のCO₂排出削減や再生可能エネルギー使用比率向上に貢献する設備投資等に充當いたします。

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」に定められている4つの要素（1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価と選定のプロセス、3. 調達資金の管理、4. レポーティング）に関する方針を記載した「コマツグリーンボンド フレームワーク」を策定し、上記「グリーンボンド原則 2018」および「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」に適合している旨、当業界に知見がありグローバルに認定された第三者機関であるDNVGLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社から適合性に関するセカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上